

Dynavector DV XX-2A 取扱説明書

■ はじめに

このたびは、ダイナベクターMCカートリッジXX-2Aをお買い上げいただき誠に有難うございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

■ 主な特徴

ダイナベクターは1978年の創業以来、高級オーディオメーカーとして数多くの高性能カートリッジを世界に送り出して来ました。開発にあたっては創業者の築いた伝統「学術的工学理論に基づいたアプローチ」を常に心がけています。

高性能MCカートリッジには優れた振動系が必要なのは言うまでもありません。カンチレバー、コイル、ダンパー、高剛性ボディなど各要素に優れた性能が要求されますが、カートリッジを構成する磁気回路も極めて重要な要素であります。

新型カートリッジの開発にあたり、焼鈍温度、焼鈍環境、加熱時間、加熱率、冷却率など磁気焼鈍の最適化にこだわり、純鉄ならではの優れた磁気性能を引き出すことに成功しました。

新しい理想的な磁気回路により、歪の無い優れた解像力、のびやかな広域の表現、音場空間の広がり、音質の全てが飛躍的に向上しました。

優れた振動系と理想的な磁気回路が生み出すハーモニー。

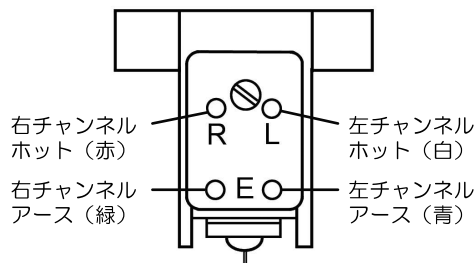
今まで以上に自然で躍動的なダイナベクターXX-2Aカートリッジの音をお楽しみ下さい。

■ 取付方法

1. 付属のねじを用いてカートリッジをシェルに取り付けます。ご使用時のシェルの厚さに応じて最適な長さのネジを使用してください。適合のネジサイズはM2.5です。

2. 取り付け位置はご使用のトーンアームのオーバーハングに合わせます。詳しくはトーンアームの取扱説明書を参照ください。

3. リード線を配線するときはピンセット等を用い、それぞれの端子を正しく配線してください。配線に際して半田付けは絶対に避けてください。線材の内部断線の原因となります。



4. 針圧

適正針圧は1.8～2.2gで、室温20℃が基準です。室内温度が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。

5. 出力電圧

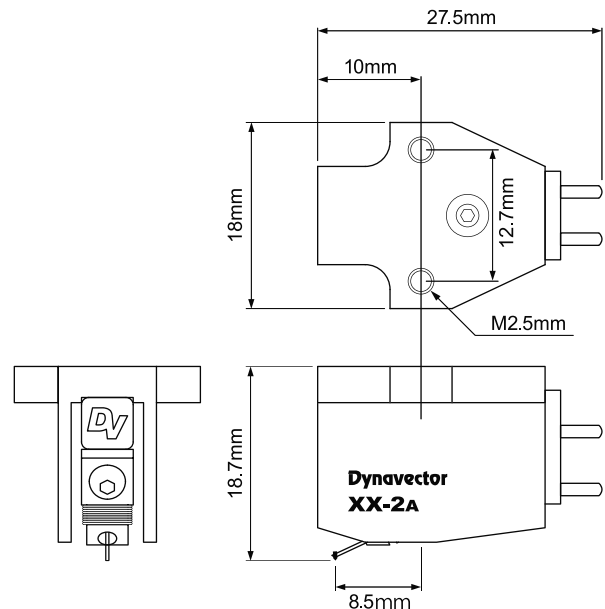
出力電圧は0.28mVですので、市販のヘッドアンプや昇圧トランスが別途必要になります。これらのデバイスは再生音に大きく影響しますので、良質な機器をご選定ください。

6. 針先のクリーニング

針先はカートリッジの性能を左右する大変デリケートな部分ですので取り扱いにはご注意ください。針先の汚れはやわらかいブラシなどで根本から針先に向かって軽く払うようにクリーニングしてください。通常の針先クリーニングはノンアルコールタイプのクリーニング液を推奨します。

7. 針交換について

針先が磨耗した場合は、針交換修理かトレードイン価格にて新品とお取換え致します。詳しくはお買い上げいただいたお店か直接弊社にお問合せ下さい。



■ 仕様

形式	: 低出力MCカートリッジ フラックスダンパー付
出力電圧	: 0.28 mV (at 1 KHz, 5cm/sec)
周波数特性	: 20 - 20,000 Hz (±1dB)
チャンネルバランス	: 1.0 dB (at 1 KHz)
チャンネルセパレーション	: 30 dB (at 1 KHz)
コンプライアンス	: 10 mm/N
インピーダンス	: 6 Ω
スタイラスチップ	: PFラインコンタクト針
カンチレバー	: 6mm長ソリッドボロン
針圧	: 1.8 - 2.2 g
推奨負荷インピーダンス	: 30 Ω以上
自重	: 8.9 g

ダイナベクター株式会社

101-0031 東京都千代田区東神田 3-2-7
TEL 03-3861-4341 FAX 03-3862-1650
URL <https://www.dynavector.co.jp/>